

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 原信ナルスホールディングス株式会社

コード番号 8255 URL <http://www.hnhd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 原 和彦

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員経営企画統括

(氏名) 山岸 豊後

TEL 0258-66-6711

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	30,128	2.3	996	3.6	964	0.4	513	—
23年3月期第1四半期	29,453	1.9	961	18.7	961	23.4	△219	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 538百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △246百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	29.17	—
23年3月期第1四半期	△12.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	53,670	23,511	43.8	1,335.82
23年3月期	54,125	22,937	42.4	1,303.18

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 23,511百万円 23年3月期 22,937百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	10.00	—	20.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	62,500	1.6	1,900	△7.2	1,900	△6.6	940	238.7	53.41
通期	124,500	0.9	3,900	2.0	3,900	2.4	1,800	33.6	102.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期1Q	18,014,239 株	23年3月期	18,014,239 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	413,293 株	23年3月期	413,293 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期1Q	17,600,946 株	23年3月期1Q	18,002,511 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】4ページ「1 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

目次

	頁
1 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2 サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(四半期連結損益計算書)	8
(四半期連結包括利益計算書)	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する事項	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(7) 重要な後発事象	12
4 補足情報	13
(1) 生産、受注及び販売の状況	13

1 当四半期決算に関する定性的情報

文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の連結子会社）が判断したものであります。

なお、将来に関する事項につきましては、不確実性を有しており、将来生じる結果と異なる可能性がありますので、記載しております事項に対する判断は、以下記載事項及び本項目以外の記載内容も合わせて慎重に行われる必要があります。

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響を受け、混乱状況が続いております。

このような状況において、当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高が301億28百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益が9億96百万円（前年同期比3.6%増）、経常利益が9億64百万円（前年同期比0.4%増）、四半期純利益が5億13百万円（前年同期は、四半期純損失が2億19百万円）となり、1株当たり四半期純利益は29円17銭となりました。

売上高、営業利益につきましては、以下に記載いたしますセグメント区分ごとの要因により変動しております。

経常利益につきましては、営業利益の変動要因により増加しております。

なお、四半期純利益につきましては、経常利益の増加に加え、前年同期が「資産除去債務に関する会計基準等」の適用による、多額の会計基準変更時差異を特別損失に計上したものの、当第1四半期連結会計期間については、このようなものがなかったため、前年同期に比べ大幅な増加となりました。

セグメント区分ごとの業績を示すと、次のとおりであります。なお、各セグメントの業績値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

① スーパーマーケット

（全般）

東日本大震災の発生は、あらゆるサプライチェーンを阻害し、当社の事業活動にも影響を及ぼしました。

このような状況において、当社グループは、地域に必要な不可欠なライフラインとして、また、お客様にご支持をいただける強固で優良なリージョナル・チェーンを形成するため、長期経営計画「Advanced Regional Chain」及びこれに基づく中期経営計画に沿った事業活動を行ってまいりました。

（商品政策）

東日本大震災により、当社グループのお取引先様の一部が被害を受けたことや、お客様の購買動向の急激な変化は、商品需給のミスマッチを招き、一部の商品については、一時的な調達不足に陥りました。

当第1四半期連結累計期間半ばには、この状況は落ち着きましたが、この期間、当社グループでは、お客様に極力ご迷惑をお掛けすることが無いよう、代替商品の確保や、従来とは異なる調達ルートでの商品確保に努めました。

合わせて、被災されたお取引先様への支援にも努めてまいりました。

（販売政策）

販売計画の立案から実行、振り返りまでの一連のサイクルを体系化した週間管理の仕組みが定着し、適正利益の確保につながっています。

この結果、東日本大震災直後の混乱や生鮮相場の変動といった状況下にあっても、店舗段階での売上総利益率は、前年同期に比べ0.3ポイント増加し、24.5%になりました。

（被災地支援）

当社グループでは、東日本大震災からの復興に役立てていただくため、前連結会計年度に行った義援金の提供に加え、継続的取組として、「まごころの1円プログラム」を平成23年4月1日より開始いたしました。

この活動は、当社グループのオリジナル商品1個の販売につき1円を義援金として寄付する販売連動型義援金の取り組みです。

当第1四半期連結累計期間では、販売実績に基づき、提供資金15百万円の積み立てを行いました。第2四半期連結会計期間においても、この取り組みを継続する予定です。

（組織変更）

新規にSV（スーパーバイザー）室を設置いたしました。

これは、本部、各店舗が一丸となって、お客様にご満足いただける売り場づくりを推進していくことを目的とし、本部の考え方と各店舗の考え方、双方の意思統一を図り、売り場に営業方針を具現化していく活動を行います。

この機能が発揮されることで、地域が限定されたローカル・チェーンから、広域なリージョナル・チェーンへ出店

地域が広がっても、当社グループが目指す売場のレベルが、一定に保てるものと考えております。

(コスト・コントロール)

作業計画と連動した労働時間管理や、ISO14001の環境マネジメントと連動した環境コストの削減を進めるほか、様々な形で経営資源の適正利用、使用量の削減の取り組みを継続しております。

この結果、販売費及び一般管理費は、連結全体で前年同期に比べ1億50百万円増加いたしました。売上高に対する比率は23.5%となり、前年同期と同様になりました。

金額の増加につきましては、店舗数の増加に伴う諸経費の増加、当第1四半期連結累計期間中の店舗改装費用の発生に加え、当第1四半期連結累計期間以降の新規出店店舗に係る採用人員の事前教育費用によるものであります。

(出店・退店等)

出店、退店につきましては、該当事項はありません。なお、前連結会計年度に出店した店舗につきましては、概ね予定を上回る営業実績で推移しております。

改装につきましては、原信吉田店(5月・新潟県燕市・売場面積2,050㎡)について、実施いたしました。

(業績)

当第1四半期連結累計期間の営業状況を示すと以下のとおりであります。

項目		当第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	前年同期比
店舗数		66店舗	1店舗増
店舗売上高	全店	28,579百万円	101.9%
	既存店	27,743百万円	99.7%
来店客数	全店	1,629万人	101.7%
	既存店	1,586万人	99.8%
買上点数	全店	10.76点	99.4%
客単価	全店	1,750円	100.2%

- (注) 1 店舗売上高及び客単価には、消費税等は含まれておりません。
 2 店舗数は、当四半期連結会計期間末現在の設置店舗数であります。
 3 既存店は、店舗開設より満13ヶ月以上を経過した店舗であります。
 4 買い上げ点数は、お客様一人当たりが一回のご来店でお買い上げになる商品数の平均であります。
 5 客単価は、お客様が一回のお買い物でお買い上げになった金額の平均であります。
 6 前年同期比は、年間各月の比率の平均値であります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるスーパーマーケット事業の売上高は300億5百万円(前年同期比2.2%増)、営業利益は9億69百万円(前年同期比2.6%増)となり増収増益を確保することができました。

② その他

(業績)

当第1四半期連結累計期間におけるその他の事業の売上高は7億90百万円(前年同期比27.7%増)、営業利益は47百万円(前年同期比34.8%増)となりました。

情報処理事業につきましては、東日本大震災の影響で、受注高の減少、納期の遅れ等があり、減収減益となりましたが、清掃事業につきましては、安定した受注とコスト削減により、増収増益となりました。

このほか、前年同期と比べ連結範囲の変更があり、動産リース事業が連結範囲より除外、印刷事業が新規に連結範囲に加わりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の変動状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4億55百万円減少し536億70百万円となりました。また、総負債は前連結会計年度末に比べ10億29百万円減少し301億58百万円、純資産は前連結会計年度末に比べ5億74百万円増加し235億11百万円となりました。

各項目別の内容を示すと、次のとおりであります。

(総資産)

流動資産は134億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億21百万円減少いたしました。これは主に、納税等の関係で、現金及び預金が前連結会計年度末に比べ6億19百万円減少したことによるものであります。この結果、

流動資産の構成比は前連結会計年度末に比べ1.1ポイント減少し25.0%となりました。

固定資産は402億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億66百万円増加いたしました。その内容は次のとおりであり、この結果、固定資産の構成比は前連結会計年度末に比べ1.1ポイント増加し75.0%となりました。

有形固定資産は、295億60百万円となり前連結会計年度末に比べ4億80百万円増加いたしました。これは主に、当第1四半期連結累計期間における改装1店舗への投資と当連結会計年度中に新規出店予定の店舗に係る建設投資によるものであります。

無形固定資産は、16億68百万円となり前連結会計年度末に比べ77百万円減少いたしました。これは主に、リース資産とのれんの償却によるものであります。

投資その他の資産は、90億12百万円となり前連結会計年度末に比べ1億37百万円減少いたしました。これは主に、長期貸付金と繰延税金資産の減少によるものであります。

この結果、総資産回転率（年間換算値）は2.3回となり、前年同期に比べ0.1ポイント増加いたしました。

（総負債）

流動負債は178億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円減少いたしました。これは主に、納税により未払法人税等が前連結会計年度末に比べ5億77百万円減少したことによるものであります。なお、流動負債の構成比は前連結会計年度末に比べ0.3ポイント増加し33.2%となりました。

固定負債は123億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億17百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が前連結会計年度末に比べ9億8百万円減少したことによるものであります。この結果、固定負債の構成比は前連結会計年度末に比べ1.7ポイント減少し23.0%となりました。

（純資産）

株主資本は232億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億49百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益5億13百万円の計上と、子会社1社を新規に連結範囲へ加えたことによる連結範囲の変動額2億46百万円の計上によるものであります。

その他の包括利益累計額は2億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ25百万円増加いたしました。これは、投資有価証券の時価変動により、その他有価証券評価差額金が前連結会計年度末に比べ25百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.4ポイント増加し43.8%となり、1株当たり純資産は前連結会計年度末に比べ32円64銭増加し、1,335円82銭となりました。

② 連結キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ6億19百万円減少し、56億8百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況を示すと、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は13億8百万円となり、前年同期に比べ7億79百万円減少（前年同期比37.3%減）いたしました。

これは主に、たな卸資産の増加と法人税等の支払額の増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は5億92百万円となり、前年同期に比べ37百万円増加（前年同期比6.8%増）いたしました。

これは主に、当第1四半期連結累計期間における1店舗の改装投資と当連結会計年度中に新規出店予定の店舗に係る建設投資により、有形固定資産の取得による支出が前年同期に比べ1億円増加（前年同期比17.4%増）したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は14億24百万円となり、前年同期に比べ5億29百万円増加（前年同期比59.2%増）いたしました。

これは主に、新規資金調達を行わずに有利子負債の返済を進めたことによるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

業績は概ね当初想定した状況で推移しており、連結業績予想の修正はありません。

2 サマリー情報（その他）に関する情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当四半期連結累計期間において、連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の概要

当四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表規則に規定する「四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理」の適用はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表規則に規定する「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」の適用はありません。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,229	5,610
受取手形及び売掛金	—	458
売掛金	494	—
リース投資資産	1,896	1,853
有価証券	5	5
商品及び製品	2,231	2,505
仕掛品	6	13
原材料及び貯蔵品	107	115
未収還付法人税等	96	169
繰延税金資産	690	791
その他	2,396	1,913
貸倒引当金	△5	△8
流動資産合計	14,149	13,428
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,459	11,465
機械装置及び運搬具（純額）	551	548
土地	13,382	13,583
リース資産（純額）	2,349	2,256
建設仮勘定	198	584
その他（純額）	1,138	1,120
有形固定資産合計	29,079	29,560
無形固定資産		
のれん	153	127
リース資産	310	255
その他	1,283	1,285
無形固定資産合計	1,746	1,668
投資その他の資産		
投資有価証券	1,467	1,462
長期貸付金	123	48
繰延税金資産	1,605	1,622
敷金及び保証金	4,936	4,850
その他	1,018	1,029
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	9,149	9,012
固定資産合計	39,975	40,241
資産合計	54,125	53,670

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,898	8,212
1年内返済予定の長期借入金	4,534	4,388
リース債務	620	578
未払法人税等	1,125	548
ポイント引当金	7	6
役員賞与引当金	73	24
賞与引当金	872	1,352
その他	2,694	2,703
流動負債合計	17,826	17,814
固定負債		
社債	1,000	1,000
長期借入金	4,312	3,403
リース債務	2,559	2,436
資産除去債務	2,396	2,410
長期預り保証金	2,765	2,764
その他	329	330
固定負債合計	13,361	12,344
負債合計	31,188	30,158
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,159	3,159
資本剰余金	6,405	6,405
利益剰余金	13,620	14,170
自己株式	△494	△494
株主資本合計	22,692	23,241
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	245	270
その他の包括利益累計額合計	245	270
純資産合計	22,937	23,511
負債純資産合計	54,125	53,670

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	29,453	30,128
売上原価	21,572	22,062
売上総利益	7,881	8,066
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	7	6
従業員給料	1,119	1,212
雑給	1,897	2,009
役員賞与引当金繰入額	14	24
賞与引当金繰入額	373	442
賃借料	16	20
地代家賃	622	632
減価償却費	555	553
のれん償却額	83	26
貸倒引当金繰入額	1	2
その他	2,226	2,136
販売費及び一般管理費合計	6,919	7,070
営業利益	961	996
営業外収益		
受取利息	14	13
受取配当金	27	15
その他	14	10
営業外収益合計	56	39
営業外費用		
支払利息	49	38
寄付金	—	15
遺跡調査費	—	14
その他	8	2
営業外費用合計	57	70
経常利益	961	964
特別損失		
固定資産除却損	20	16
投資有価証券評価損	—	11
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,361	—
特別損失合計	1,381	28
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△420	936
法人税、住民税及び事業税	496	538
法人税等調整額	△697	△115
法人税等合計	△201	422
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△219	513
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△219	513

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△219	513
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26	25
その他の包括利益合計	△26	25
四半期包括利益	△246	538
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△246	538
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△420	936
減価償却費	563	580
のれん償却額	83	26
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	2
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△66	△55
賞与引当金の増減額(△は減少)	388	473
受取利息及び受取配当金	△42	△28
支払利息	49	38
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	—	11
固定資産除却損	20	16
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,361	—
売上債権の増減額(△は増加)	50	74
たな卸資産の増減額(△は増加)	△134	△270
仕入債務の増減額(△は減少)	503	264
未払又は未収消費税等の増減額	4	△16
リース投資資産の増減額(△は増加)	36	43
その他	529	427
小計	2,928	2,524
利息及び配当金の受取額	29	15
利息の支払額	△36	△34
法人税等の支払額	△832	△1,196
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,088	1,308
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△580	△681
無形固定資産の取得による支出	△7	△10
貸付けによる支出	△1	△7
貸付金の回収による収入	11	5
その他	24	101
投資活動によるキャッシュ・フロー	△554	△592
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	800	—
長期借入金の返済による支出	△963	△1,054
社債の償還による支出	△315	—
リース債務の返済による支出	△188	△173
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△228	△196
財務活動によるキャッシュ・フロー	△894	△1,424
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	639	△707
現金及び現金同等物の期首残高	4,609	6,227
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	88
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,248	5,608

(4) 継続企業の前提に関する事項

当第1四半期連結会計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		その他 (注) (百万円)	合計 (百万円)
	スーパー マーケット (百万円)	合計 (百万円)		
売上高				
外部顧客に対する売上高	29,348	29,348	104	29,453
セグメント間の内部売上高又は振替高	13	13	514	527
計	29,361	29,361	618	29,980
セグメント利益	944	944	35	979

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報処理事業、不動産賃貸事業、清掃事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメントのセグメント利益計	944
「その他」の区分のセグメント利益計	35
セグメント間取引消去	277
全社費用	△295
四半期連結損益計算書の営業利益	961

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		その他 (注) (百万円)	合計 (百万円)
	スーパー マーケット (百万円)	合計 (百万円)		
売上高				
外部顧客に対する売上高	29,991	29,991	137	30,128
セグメント間の内部売上高又は振替高	14	14	653	667
計	30,005	30,005	790	30,795
セグメント利益	969	969	47	1,016

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報処理事業、清掃事業、印刷事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

利益	金額 (百万円)
報告セグメントのセグメント利益計	969
「その他」の区分のセグメント利益計	47
セグメント間取引消去	7
全社費用	△318
その他調整額	290
四半期連結損益計算書の営業利益	996

- (注) 1 セグメント間取引消去は、主にセグメント間の固定資産売買によって生じた未実現利益に係る調整額であります。
- 2 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社（持株会社である当社）に係るものであります。
- 3 その他調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社（持株会社である当社）に対する経営指導料支払額の消去によるものであります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）
該当事項はありません。

4 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 販売実績

(単位 百万円、%)

項目			前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)		前年同期比	
			売上高	構成比	売上高	構成比	金額	比率
スーパーマーケット	生鮮食品	青果	3,993	13.3	3,966	12.9	△26	99.3
		精肉	3,192	10.6	3,402	11.0	210	106.6
		水産	2,702	9.0	2,659	8.6	△43	98.4
		惣菜	2,656	8.9	2,725	8.9	68	102.6
		計	12,545	41.8	12,754	41.4	209	101.7
	一般食品	デイリー	5,496	18.3	5,631	18.3	134	102.5
		加工食品	8,210	27.4	8,370	27.2	160	102.0
		インスタアペーカリー	433	1.5	471	1.5	37	108.7
		計	14,140	47.2	14,473	47.0	333	102.4
	住居	1,300	4.3	1,289	4.2	△10	99.2	
	衣料品	60	0.2	55	0.2	△4	92.8	
	その他	2	0.0	73	0.2	71	—	
	営業収入	1,299	4.3	1,343	4.4	44	103.4	
	セグメント間の内部売上高又は振替高	13	0.1	14	0.0	0	106.9	
	計	29,361	97.9	30,005	97.4	643	102.2	
その他	外部顧客に対する売上高	104	0.4	137	0.5	32	130.9	
	セグメント間の内部売上高又は振替高	514	1.7	653	2.1	138	127.0	
	計	618	2.1	790	2.6	171	127.7	
合計			29,980	100.0	30,795	100.0	814	102.7

② 仕入実績

(単位 百万円、%)

項目			前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)		当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)		前年同期比	
			仕入高	構成比	仕入高	構成比	金額	比率
スーパーマーケット	生鮮食品	青果	3, 151	14. 5	3, 083	13. 8	△67	97. 9
		精肉	2, 334	10. 7	2, 565	11. 4	230	109. 9
		水産	2, 007	9. 2	2, 048	9. 1	40	102. 0
		惣菜	1, 578	7. 3	1, 608	7. 2	30	101. 9
		計	9, 072	41. 7	9, 305	41. 5	233	102. 6
	一般食品	デイリー	4, 185	19. 2	4, 193	18. 7	7	100. 2
		加工食品	6, 802	31. 2	6, 911	30. 8	108	101. 6
		インスタアペーカリー	209	1. 0	215	1. 0	5	102. 7
		計	11, 198	51. 4	11, 319	50. 5	121	101. 1
	住居	1, 047	4. 8	1, 039	4. 7	△7	99. 2	
	衣料品	40	0. 2	36	0. 2	△4	89. 6	
	その他	0	0. 0	137	0. 6	137	—	
	リース原価	36	0. 2	43	0. 2	6	118. 9	
	セグメント間の内部仕入高又は振替高	56	0. 3	49	0. 2	△6	87. 6	
	計	21, 451	98. 6	21, 932	97. 9	480	102. 2	
その他	外部取引先からの仕入高	309	1. 4	451	2. 0	141	145. 7	
	セグメント間の内部仕入高又は振替高	3	0. 0	27	0. 1	23	702. 3	
	計	313	1. 4	479	2. 1	165	152. 7	
合計			21, 765	100. 0	22, 411	100. 0	646	103. 0

(注) セグメント間の内部取引高を含めて表示しており、消費税等は含まれておりません。